

水鳥の池の畔



水面に浮かぶブイの上や護岸をみてみましょう。西立川口側にある中の島のケヤキも要チェックです。



写真中央に写るブイなどは、カワセミのお気に入りスポット



獲物を捕らえたら、飛びこんだ場所に戻ることが多い

カワセミ観察スポットマップ



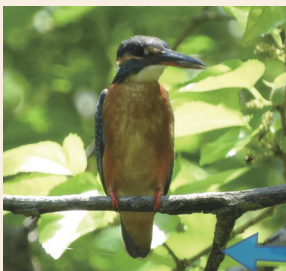
カワセミ のみつけ方



観察のマナー

静かに距離をとって観察しよう

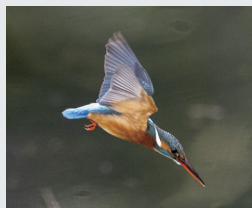
大きな声や音を出すと、カワセミを驚かせてしまいます。また、近づきすぎると危険を感じて逃げてしまいます。カワセミが、こちらをみつめてきたり、動きが止まるようであれば、距離をとってみてください。



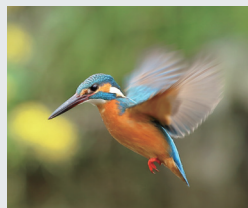
♥ストレスを与えない距離を保って観察するには、双眼鏡やカメラで拡大してみるのがオススメ



出合えたらいいなこんな瞬間



小魚やエビなどの獲物を見つけ



空中の一点にとどまって飛び(ホバリング)、獲物にねらいを定める

公園からのおねがい

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・花畑や花壇、柵で囲った場所は入らずに観察しましょう。
- ・スズメバチに出合ったら、立ち去るまで待ちましょう。

その姿から清流にすむイメージを持たれる鳥ですが、実際は私たちの身近にすみ、年中観察できる鳥です。
昭和記念公園でカワセミをさがしてみませんか？

オススメ観察スポット

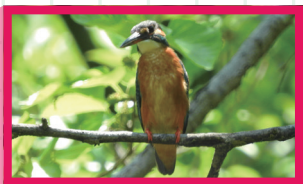
トンボの湿地



木道から、^{しっち}湿地に張り出した枝をみてみましょう。



お気に入りの枝に止まって狩りをする人が多い



^{えもの}獲物のいる水中からは、^{はいめん}背面の鮮やかな色はみえず目立たない

バードサンクチュアリ + 花木園の池に面したエリア



池の縁のヨシの中や水面をみおろせる枝の上、水辺の石の上をみてみましょう。



バードサンクチュアリの中央の小窓からみえる池とヨシ原



池の水面がみおろせるヨシ原近くの枝の上や石の上をチェック！

水辺の宝石 “カワセミ”

観察するときのヒントを紹介し^{しょうかい}ます。

♪チー

♪キッキツ

鳴き声は自転車のブレーキ音に似ています
声が大きく聞こえたら、近くに
いる可能性があります

イラストのようにくちばしが上下ともに黒いのはオスで、メスの下くちばしはオレンジ色をしています



メス



全長

約17cm



原寸大イメージ

カワセミは目立つ鳥？

派手な姿ですが、^{ぜんちよう}全長はスズメほどと小さく、意外と自然の中では目立ちません。背面の羽は、^{はんしや}光の反射によって輝いたり、くすんでみえる「^{こうぞうしよく}構造色」によって青く輝いてみえます。この羽色が水面の色と同化して「^{ほごしよく}保護色」となり、上空からねらってくる天敵のタカなどからみえづらくなっていると言われています。

なかなかみつけにくい^かため、オススメの観察方法は、よく狩りをするオススメ観察スポットでの待ち伏せです。



構造色の羽

カワセミが生活している環境

小魚やエビなどの水生生物がいる池や湿地、小川などの水辺で生活しています。休息などでは上空の天敵のタカや地上のネコなどから身を隠せる木陰や茂みの中を、狩りのときは水面をみわたせる枝や杭の上を利用することが多いようです。



水面近くに張り出し、葉が茂っている枝は、天敵から身を隠しつつ、水中の獲物をさがして捕らえるには恰好の場所です



写真のように、さえぎるものがないところに止まっている場合、水中の獲物をさがしている可能性が高いです